

大阪国際中学校高等学校

大阪府 守口市

<私立 共学 帰国入試>

[学校ホームページはこちら](#)



〒570-8787 守口市松下町1-28

京阪電車「守口市」より徒歩15分

京阪電車「土居」より徒歩9分

大阪メトロ今里線「清水」より徒歩15分

大阪メトロ谷町線「太子橋今市」徒歩17分

帰国生在籍数 若干名

沿革

学校法人大阪国際学園が運営する大阪国際滝井高等学校(女子高)と大阪国際大和田中学校高等学校(共学)が発展的に統合し、2022年4月に開校した男女共学の中高一貫校です。大阪国際学園の建学の精神「全人教育」の下、両校の良き伝統を継承しつつも、「これからの時代に必要な学校を作る」という強い思いで新たな歴史を歩みだしました。



教育の特色

校訓である「人間力をみかく」をもとに、「自分らしく生き抜く力を身につけ、未来社会の担い手になる」ことを目指している。礼節を重んじ、世界に通じる心豊かな人間を育成することをミッションとしている。小笠原礼法を授業に取り入れることで、他者を大切に思う心を身につけ、日本の伝統文化を学び、多様な価値観を理解する心も身につけます。国際バカロレアの精神のもとグローバル人材の育成を目指しており、国際感覚を磨く環境も整えています。ネイティブ教員と話すことのできるグローバルコモンズというスペースを設けるなど英語を日常的に使うことができます。知識を詰め込むだけでなく、表現活動や地域フィールドワーク、STEAM教育を取り入れており、さまざまな探究型プログラムから選択できる。

① 国際バカロレアコース

大阪府内の1条校の中で唯一、英語によるIBDPの認証を取得（2022年3月）高校卒業資格とIBDP資格の両方を取得可能。

授業のほとんどを英語で学び、知識の取得のみならず、探究型学習も組み合わせ国際感覚をはぐくんでいる。

1クラス定員15名の少人数制。

高2の夏休み前に修学旅行としてスタディツアーを実施(国内外)

中学からの内部進学希望者は日本語と英語による面接により、基準を満たせば受験が可能。

② 目指す生徒像

国際バカロレア機構の定める学習者像を「目指す生徒像」としその言葉を校内の各所に掲げることにより、常に意識し振り返りができるようにしている。

③ コース

中学校：Ⅰ類 グローバルコース（中高6年一貫）

高校進学時「国際バカロレアコース」「スーパー文理探究コース」への進学可能

高 校：Ⅰ類 スーパー文理探究コース 難関国公立大学への進学を目指す。

プログラムα、プログラムβ（カリキュラムは同じだが、αはより発展的に学習）

国際バカロレアコース 世界水準のカリキュラム。1年次は日本の高校卒業資格に必要な科目。2年次、3年次はIBDP資格取得の授業

Ⅱ類 未来探究コース 学力と個性をバランスよく伸ばし、併設大学への内部進学を視野に、進学の扉をひらく。

幼児保育進学コース 併設の短大・幼稚園と連携し実践力を身につける



先生よりひと言

本校は、高校卒業資格と英語による IBDP 認定資格を同時に取得できる大阪府唯一の高校です。校訓は「人間をみがく」。生徒一人ひとりの夢や志を大切に、質の高い学びとバランスの取れた人間形成をめざす教育を展開します。また、「世界へ、私たちの輝きを。」をキャッチフレーズに、国際感覚や創造力・表現力をみがき、個性豊かで将来、社会に貢献できる人を育てます。また、グローバル化の中で多様性を尊重するとともに、自国の歴史・伝統・芸術・文化・自然を理解し尊重しつつ、多様な他者と協働しながら目標に向かって挑戦する力、真の国際感覚を養います。



帰国生受け入れについて

※最新の情報は、学校ホームページでご確認ください。

【国際バカロレア（IB）コースについて】

① 受け入れの理由、求める帰国生像

国際バカロレアの精神に基づくグローバル人材の育成を目指しており、さまざまなバックグラウンドをもった生徒が集まることにより、それぞれの生徒が異文化を理解し、国際感覚を身につけ、自ら主体的に考えて行動できるようになってほしいと考えている。帰国生の皆さんには、その中で、リーダー的な存在としての活躍を期待したい。

② 選考

高校の国際バカロレアコースでは、11月に帰国生徒等特別入試を実施しており、英語の小論文、日本語の数学、英語と日本語による個人面接と英語によるグループディスカッションを行うが、オンライン受験も選択可能である。（但し、専願のみ出願が可能）2月に実施される一般入試で入学する帰国生もいる。

③ 必要な準備

本校のIBコースは英語によるIBDPの認定を受けているため、多くの授業は英語で行われる。ただ、1条校でもあるため、高校卒業に必要な科目の一部を日本語で学習する。特に海外の現地校やインターナショナルスクールで長期間学習した生徒にとっては、日本語の運用能力が課題となることが多い。受験に際しては、英語は英検2級レベル（CEFLB1）以上、日本語能力検定N2レベル以上の語学力が必要である。

④ 受け入れ後の状況

ネイティブ教員や留学生が多く、生徒同士が英語で話す環境もあり、違和感なく溶け込んでいる。帰国生だからという特別なカリキュラムはないが、個人の学力に応じて、補習や個別指導を行っている。また、文化祭や体育祭といった学校行事やクラブ活動では、他のコースの生徒と一緒に参加するので、他コースの生徒との交流もある。

⑤ 復学制度

休学・復学に関する制度は規定としてはあるものの、IBコースの生徒の場合、単位認定やIB認定試験との関係から現実には難しい。



かけはしより

京阪守口市駅から徒歩 15 分ほど歩くと公園の横に人工芝のグラウンドと校舎が現れました。京阪の他、大阪市営地下鉄からも徒歩圏内で利便性が感じられます。校舎内に入るとまず目を引くのは、「人間をみがく」という教育理念と国際バカロレアの 10 の学習者像の壁面展示です。IB コースの生徒だけでなく、学校全体で国際バカロレアの考え方に基づいた教育を目指されているということだそうです。校舎内はまだ新築の香りがし、明るく伸びやかな校舎内は生徒たちへのメッセージがちりばめられさまざまな工夫がされています。

特筆すべき点の一つは 1 階から 4 階までの廊下の壁面に棚が設置され、学校全体が図書館となっていることです。テーマ別の展示となっており、「自分をみがく」「社会をかける」「自然に触れる」「日本をさぐる」「世界へはばたく」と分かれており、身近なところから上階に上がるに従い、世界や宇宙にテーマが広がっていく感じだそうです。また、図書館司書として民間の書店からスタッフが 3 名派遣されており、そのうちの 1 名は英語が話せる方で、本の紹介に限らず、学習サポートを含めさまざまな場面でアイデアや提案をされているとのこと。校長先生にこの IT の時代になぜ本の存在に力を注がれるのかとお聞きしたところ、

「もちろん情報化社会であるのでインターネットを使うことは必然と考えていますが、ネットの情報は自分から知りたいことを取りにいかなくてはならず、自分の関心のないことになかなか踏み込んでいくことができないものです。本が身近にあるということはある日ふと目についた 1 冊が、自分の興味のスタートとなることもあり、出会いであると考えています」とのことでした。英語の本も数多く所蔵されており、IB コースの生徒を含め、多読をすすめているということです。校内随所に生徒の興味のきっかけが設けられており、各教室のドアは日本国内の木材 16 種類を使用したり、教室内外装の色は日本の伝統的な和色の青 48 種が採用されており、日本を意識した温かみのあるものを使用展示されています。また、校内の壁面の随所には著名人・偉人の名言「言葉のサイン」が随所に書かれており、生徒たちが興味をもつきっかけや解決の糸口の一つとなればという思いのようです。また、校舎天井部分の梁や配管などがむき出しで、さらに電気系統や空調などの管の色分けをすることで建築について興味をもつきっかけが作られています。



こういったハード面からの導入はもちろんですが、入学直後の2週間に渡るオリエンテーションには校長先生も加わり、学びの準備をします。グループワークを通し人間関係や学びの姿勢をお互いに刺激しあい、どうして勉強するのか、勉強していることが将来何の役に立つのかということをお話合います。活躍できる社会人になるためには、中高生の今何をすべきなのかを考えてほしいという思いがおりるように感じました。所在地である松下町はもともと Panasonic の工場があり、そのご縁からも松下幸之助氏の理念も取り入れられているようで、モチベーション高く学び、素直で謙虚さも持ち合わせたバランスの取れた人間性を作りたいとのことでした。進学校ではありますが詰め込みではない教育を目指し、本が好きな英語が好きな生徒になってほしいとお聞きしました。

中学入学者の中には入学時から高校での IB コース編入を目指している生徒も増えてきており、うれしい限りだと伺いました。

夕方遅くなったの取材でしたが、たくさんの生徒が自習エリアとなった食堂やクラブ活動にいそしむ姿に、自主的に学ぶ、学びを楽しむ姿勢が垣間見え、こちらもうれしい気持ちになりました。IB コースはもちろんですが、他コースでも帰国生受け入れの方針をお持ちですので、ご興味がおありであれば問い合わせの上、是非学校見学をおすすめします。

担当者から見た学校の特色 IB理念・学びのヒント

